

片山大使挨拶：日・ペルー医療専門家オンライン会合
【2021年3月19日（金）（ペルー時間）】

ペルー及び日本の医療関係者の皆様、ゲストの皆様

こんばんは。そしておはようございます。本日は、大変御多忙のなか、ペルーと日本の感染症分野の意見交換のためのオンラインイベントに、大変多くの医療関係者に御参加いただけたことに、日本国大使として嬉しく思います。日々、COVID-19 対策の最前線で職務に従事する皆様に、心より敬意を表します。

本日、日本から御講演いただく東北大学の齊藤繭子准教授は、感染症学の専門家として世界各地をフィールドに様々な感染症の研究を行ってきた専門家です。過去にはペルーのカジェタノ・エレディア大学に在籍していました。そして、現在は日本政府の新型コロナウイルス対策本部に、専門家として御協力いただいています。齊藤先生には、今回の意見交換の場への出席を快諾いただいたことに誠に感謝申し上げます。

本日は、東北大学に在籍するペルー人国費留学生の研究発表も行われます。先月にはサンマルコス大学と筑波大学にそれぞれサテライト・オフィスが設けられました。今後も、様々な共通の課題における相互協力を通じて、二国間交流がさらに促進されることを期待します。

新型コロナウイルス感染症拡大の危機に対し、我が国の官民を通じた対ペルー支援を実施しています。例えば、我が国政府としてペルーの更なる医療・保健体制の強化のために、総額1000万米ドルを超える支援を行っています。このうち保健省には、総額約800万米ドルの資金援助により、救急車100台の供与を決定しました。

日本はペルーとともに COVID-19 の危機克服に向けて引き続き国際協力に取り組んでまいります。本イベントが両国にとって有意義な意見交換の場となることを願っています。

有り難うございました。

（了）